

## 商品市況展望

平成 25 年 3 月 17 日記

安倍晋三首相は 15 日夕、首相官邸で記者会見し、環太平洋連携協定（TPP）交渉への参加を正式表明した。

時事通信 3 月 15 日(金)18 時 3 分配信

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20130315-00000141-jjj-pol>

賛成派と反対派の主張が極端すぎて、当方にとっては、未だに何が良くて何が悪いのか良くわからんのがこの TPP だ。そこで、巷で言われているメリットとデメリットを簡単にまとめてみた。簡単過ぎて、詳しい人には怒られそうなくらいのものだが。

### [メリット]

- 海外諸国との競争によって肉や米の価格が安くなる
- 輸出が伸びる
- 輸出企業は海外に進出しやすくなる
- 生産性が大幅に向上する
- GDP が 2.4～3.2 兆円増加(内閣府)
- などなど・・・

### [デメリット]

- 国内の農家が圧迫されるおそれがある
- 商品を購入する際、原産国、農法等が選べなくなる
- 日本のデフレが進む
- 農業関連 GDP が 4.1 兆円減少、全体としては 7.9 兆円の損失(農林水産省)
- TPP を入口にアメリカが政治的圧力をかけてくる可能性がある
- などなど・・・

大体が、内閣府と農水省との GDP に対する試算でも、方や儲かる、方や損するというわけで、TPP 参加で景気が良くなるのか、悪くなるのかもさっぱり判らん状況だ。

そのほかの項目についても、それが本当なのかどうなのかも、正直言えば賛成派も反対派も、よくわかっていないというのが実際のところじゃないかしらん。今のところ、どちらかと言えば反対派の意見の方がわかりやすい気はするので、敢えて言えば当方は反対派かな。

## 〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

### 今週の金の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
3月11日	¥4,886	49	¥4,898	47
3月12日	¥4,903	17	¥4,918	20
3月13日	¥4,899	-4	¥4,920	2
3月14日	¥4,901	2	¥4,915	-5
3月15日	¥4,920	19	¥4,935	20

金相場は、先週号においては『4,683円で調整安の底を付けた可能性が大。もう少し乱高下するか、このまままた高値追いに入るのかは、来週前半が山場となるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、4,964円(3/13)まで反騰。基本的には、4,900円台前半でのみみ合いとなった。

5,081円(2/7)→4,683円(3/4)まで398円下げた相場は、そこから4,964円(3/13)まで281円の戻りである。下げ幅の70%は戻したわけだ。

当然の事ながら、上値抵抗線は先の高値である5,081円であるし、下値抵抗線は4,683円という事になる。

ただし、…中略… もうしばらくは、もみ合い～乱高下のパターンとなるのが、普通ではないかと思える。

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年4月	¥4,307	4月25日	¥5,069	2月7日	¥3,886	6月4日	¥4,920
2013年6月	¥4,023	6月27日	¥5,068	2月7日	¥3,940	7月24日	¥4,919
2013年8月	¥4,224	8月29日	¥5,873	2月7日	¥4,166	9月3日	¥4,922
2013年10月	¥4,404	10月29日	¥5,077	2月7日	¥4,330	11月6日	¥4,926
2013年12月	¥4,519	12月25日	¥5,081	2月7日	¥4,502	12月25日	¥4,931
2014年2月	¥4,759	2月26日	<b>¥4,964</b>	<b>3月13日</b>	¥4,683	3月4日	¥4,935

○NY金日足

…削除済み…

週末3/15のNY市場は、前日比1.9ドル高の1592.6ドルでの終了。為替は95.26円での終了と円高のため、国内換算では38円安である。

チャートでは、東京金が高値圏でのみみ合いなのに対し、NY金は安値圏でのみみ合いという状況。チャートを並べてみると、全く同じ商品には見えない情勢だ。それだけ、為替相場の影響

が大きいわけである。

現在の NY 金は、1600 ドルが心理的な抵抗線であり、1620 ドルが明確な上値抵抗線。これを超えて、1700 ドル台まで上昇するなら、完全に買いトレンドに変化する。

一方で 1554 ドルが目先の底、1660 ドルが 2 番底であり、これが下値支持線だ。これを割り込むと、相場は更に底抜けする格好だ。

現在、1590 ドル台で比較的底堅く動いている主因は、…中略…

なお英バークレイズは、**2013 年の平均価格見通しを 1646 ドル**（従来予想 1778 ドル）、2014 年を 1600 ドル（1760 ドル）に引き下げた。

ゴールドマンサックスに続いての予想価格の引き下げであり、彼らも相場が上がれば予想価格を引き上げ、相場が下がればそれを引き下げるわけだ。だからそんなには当てにならないが、一応は押させて置きたい。

また CFTC 発表の 3/12 現在のファンドのポジションは、…中略…

3/15 現在での ETF 残高は、…中略…

結論として当方の相場観は、5,000 円台乗せには警戒感もあり、戻り売りも出るだろう。しかし安値はまた買われるだろうから、目先は逆張り、もみ合い相場となるのではと予測する。

○東京プラチナ日足

…削除済み…

今週のプラチナの値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
3月11日	¥4,953	31	¥4,993	35
3月12日	¥4,963	10	¥5,009	16
3月13日	¥4,907	-58	¥4,945	-64
3月14日	¥4,902	-5	¥4,944	-1
3月15日	¥4,933	31	¥4,980	36

プラチナ相場は、先週号においては『プラチナ価格 4,700 円で底打ち確認か。またサヤも 25 円までの縮小で、底打ち確認と見る。押し目買い方針に、再び転換する作戦がベターであると考え』とコメントした。

今週の相場展開は、5,052 円 (3/12) まで反騰したが、その後は 4,900 円台でのみ合いとなった。

5,300 円 (2/8) →4,704 円 (3/4) まで 596 円下げた相場は、そこから 5,052 円 (3/12) まで 348 円の戻りである。下げ幅の 58%の戻りであり、半値戻しを演じてみ合いに転じたわけだ。

チャートでの目先の抵抗線は 5,052 円であり、大きな上値抵抗線は 5,300 円。一方で下値支持線は 4,704 円であるが、それを割ると再び崩壊だ。だがその可能性はかなり低いと思われ、やはり基本的には押し目買いが有利であろう。

今のところ、そのプラチナ独自の材料としては、  
…中略…

○2月のチャイナ新車販売台数は、前年同月比 13.6%減の 135 万 4600 台←New

○2月のインド国内自動車販売台数は、前年同月比 25.7%減の 15 万 8513 台。4 ヶ月連続の減少で、減少率は過去 12 年で最大←New

○NY 市場でのファンドの買い越しは、3 万 8,100 枚と減少←New

このところは、弱材料の方が出てきている状況だ。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京プラチナー代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 4 月	¥4,090	4 月 25 日	¥5,255	2 月 7 日	¥3,466	7 月 24 日	¥4,933
2013 年 6 月	¥3,681	6 月 27 日	¥5,267	2 月 7 日	¥3,460	7 月 24 日	¥4,932
2013 年 8 月	¥3,860	8 月 29 日	¥5,274	2 月 7 日	¥3,807	8 月 31 日	¥4,933
2013 年 10 月	¥3,998	10 月 29 日	¥5,288	2 月 8 日	¥3,933	10 月 30 日	¥4,954
2013 年 12 月	¥4,249	12 月 25 日	¥5,300	2 月 8 日	¥4,236	12 月 25 日	¥4,964
2014 年 2 月	¥4,831	2 月 26 日	¥5,052	3 月 12 日	¥4,704	3 月 4 日	¥4,980

また週末 3/15 の NY プラチナは、前日比 2.6 ドル高の 1592.4 ドル。円高でもあるため、国内

換算では 50 円安である。

チャートは、1615～1620 ドルが上値抵抗線であり、1564 ドルが下値抵抗線。

○プラチナ－金価格差日足

…削除済み…

週末現在のサヤは、4,980 円（プラチナ）－4,935 円（金）＝45 円。

286 円（2/14）まで開いたところで、天井打ち。現在は 20～100 円程度のサヤでのみみ合いである。

「マイナスまでの転換は考えづらい」というのがこのところの見方であったが、NY 市場ではすでに若干だがプラチナの方が安い状況となっている。

チャートでは、…中略…

結論として当方の相場観は、基本的には押し目買いの相場であると見ているものの、現状では 5,000 円台を更に買い進むには材料不足。逆張り方針の相場であろうと見る。

## 〔穀物〕

○東京コーン日足

…削除済み…

今週のコーンの値動き

	5月限(当限)	前日比	3月限(先限)	前日比
3月11日	¥33,500	720	¥27,200	380
3月12日	¥33,900	400	¥27,440	240
3月13日	¥33,960	60	¥27,310	-130
3月14日	¥33,900	-60	¥27,210	-100
3月15日	¥34,160	260	¥27,480	270

まずはコーンから…

先週号においては『結果的に26,000円割れは回避され、円安でまた東京市場は緩やかな上昇に転じて来ている。そろそろ買い仕掛けを考えても、面白い相場であろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、27,540円(3/12)まで戻した後、もみ合いとなった。

28,170円(2/5)→26,080円(2/27)まで2,090円の下落を演じた相場が、27,540円(3/12)まで1,460円の戻りである。下げ幅の70%の戻りであり、これは金と同じである。

チャートでは27,540円が弱い上値抵抗線であり、28,170円が強い上値抵抗線。一方で下値は27,000円が弱い下値支持線であり、26,080円が強い下値支持線である。

当方が期待をかけている(?)「**大気汚染、水質汚染によって、シナの穀物生産高は最大で40%落ちるのではないかと懸念**」は、今のところ全く話題にも登っていない。このところの戻りは、円安&シカゴの反騰であり、…中略…

そうなる、もう一度売られる可能性も否定出来ないわけだが、国内相場はここに来てまた期近2本が一代高値を更新するなど、旧穀の相場は更に強張っている。そうなる、と時的にもやはり、安いところを拾う方が無難な相場であろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年5月	¥23,250	4月16日	¥34,410	3月15日	¥21,040	6月4日	¥34,160
2013年7月	¥21,550	6月18日	¥33,550	3月15日	¥21,490	6月18日	¥33,660
2013年9月	¥28,500	8月16日	¥29,430	8月23日	¥25,510	10月1日	¥29,080
2013年11月	¥25,600	10月16日	¥27,970	2月6日	¥24,420	11月14日	¥27,200
2014年1月	¥25,700	12月17日	¥28,170	2月5日	¥24,930	12月21日	¥27,230
2014年3月	¥27,290	2月18日	¥27,540	3月12日	¥26,080	2月27日	¥27,480

○シカゴコーン日足

…削除済み…

週末 3/15 のシカゴ市場は、5 月限で 0.50 セント高の 717.00 セントでの終了。12 月限では 2.50 セント高の 561.75 セントである。

このチャートの 3 月限は納会し、若干ザヤの 5 月限が当限へ。新穀はそれよりも更に 150 セントほど下ザヤである。穀物年度の違うものなのだから当然と言えば当然だが、やはり冷静に考えれば、5 ドル半ばかり下げて一体幾らあるのだろうか？という気がせんでもない。

なお CFTC 発表の 3/12 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、最大 1,000 円のリスクを覚悟して、ここからは下げた場面を徐々に買い仕込みたい。作付面積増で売られればなお良く、その後の天候プレミアムのオンを期待したい。

○東京大豆日足

…削除済み…

今週の大豆の値動き

	4月限(当限)	前日比	2月限(先限)	前日比
3月11日	¥62,110	510	¥53,410	220
3月12日	¥62,900	790	¥53,220	-190
3月13日	¥63,440	540	¥52,520	-700
3月14日	¥63,010	-430	¥52,420	-100
3月15日	¥63,000	-10	¥53,140	720

続いて一般大豆です…

先週号においては『再び円安トレンドが始まった事で、国内は底打ちして3,000円の反騰となった。相場はこのまま、押し目買いのトレンドに入っただろうと見る』とコメントした。

今週の相場展開は、63,850円(3/12)まで戻した後、一度急落。そして週末には、また切り返しての終了となった。

チャートでは、55,450円(2/6)→50,150円(2/26)まで5,300円の急落を演じた後、そこから53,850円(3/12)まで3,700円の反騰。下げ幅の70%を戻し、そこから乱高下に入ったわけだ。この戻り幅のパーセンテージは金、コーンと全く同じである。

さて目先の上値抵抗線は53,850円であり、…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年4月	¥45,350	4月16日	¥63,690	3月15日	¥41,750	6月4日	¥63,000
2013年6月	¥44,700	6月18日	¥60,090	3月13日	¥44,400	6月18日	¥58,970
2013年8月	¥48,020	8月16日	¥60,100	3月12日	¥47,500	11月13日	¥59,150
2013年10月	¥47,220	10月16日	¥60,000	3月12日	¥46,920	10月16日	¥59,770
2013年12月	¥50,680	12月17日	¥55,450	2月6日	¥48,450	1月9日	¥53,500
2014年2月	¥53,000	2月18日	¥53,850	3月12日	¥50,150	2月28日	¥53,140

一代足では、12月限を除いて、すべての限月が高値を更新している。ブラジルは豊作で、米国の作付面積も今年が多いと思われるが、実際の価格は買い方有利に運んでいる事は事実であり、これは素直に受け取った方が良さそうだ。「相場は相場に聞け！」という事だ。

○シカゴ大豆日足

…削除済み…

週末3/15のシカゴ市場は、5月限で9.50セント安の1426.00セント。11月限は1.25セント高の1261.00セント。

3月限が納会し、下ザヤの5月限が頭に廻っているため、チャートは現在のものより悪化。更にそれより2ドルも安い先物は、このチャートよりも遥か下に位置しているわけだ。



今後の大豆の需給を考えると、この下ザヤに居るのは当然であるものの、**ではそこから更に幾ら下がるのか?**と問われた時は、今後の天候プレミアムのオンを考えた場合には、やはり売りからよりも買いから入りたい気持ちとなる。

**今月末には米農務省から作付意向面積の発表があるが**、その前に民間調査会社からの発表が続く。弱気な発表で売られるようなら、そういう場面を買い拾いたい。

また CFTC 発表の 3/12 現在のファンドのポジションは、…中略…

結論として当方の相場観は、最大 2,000 円ほどのリスクを覚悟して、安値を買い下がりたい意向である。一時的な円高局面や、作付面積増加の観測で売られた場面が、良い買い場になるのではないかと見ている。

## [ゴム]

○東京ゴム日足

…削除済み…

### 今週のゴムの値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
3月11日	283.8	3.9	301.1	2.9
3月12日	277.0	-6.8	292.8	-8.6
3月13日	266.4	-10.6	280.6	-11.9
3月14日	263.5	-2.9	277.6	-3.0
3月15日	268.5	5.0	282.9	5.3

先週号においては『結果的に281.0円で底打ちした可能性が高いだろう。今後はまた押し目買いに転換し、円安からの商品高の循環買いに入る可能性が高いのではないかと読む』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けには**303.3円(3/11)**まで戻すものの、その後は再び急落。**272.4円(3/14)**まで大きく値を消し、週末はそこから戻しての終了となった。

当方のゴム相場の観測は、曲がりの時期に入っているようだ。「**281.0円で底打ちした可能性が高い**」としたのが大曲りであり、2日間の暴落で20円は下げ、**都合高値からは30円以上の下げ**を演じ、そこからまた10円戻す格好である。

青森県人なのに大曲とは、秋田県人に鞍替えだな。

ともかく相場は、**337.8円(2/6)→281.0円(3/4)**までで**56.8円**の下げた後、**303.3円(3/11)**まで**22.3円**の戻り。下げ幅の**39%戻り**は、半値戻しにも達せずに反落。**303.3円→272.4円**までの下げ幅は**30.9円**であり、ここで止まったのか？まだ下げるのか？もハッキリはしない状況だ。

現状での**上値抵抗線**はこの**303.3円**であり、**下値支持線**は**272.4円**である。…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

### 東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年3月	253.5	9月25日	316.6	2月6日	240.0	11月12日	268.5
2013年4月	262.1	10月26日	323.9	2月6日	241.8	11月12日	269.6
2013年5月	259.7	11月27日	329.0	2月6日	245.6	11月29日	273.5
2013年6月	286.0	12月21日	334.1	2月4日	<b>266.8</b>	<b>3月14日</b>	277.0
2013年7月	316.3	1月28日	337.8	2月6日	<b>269.0</b>	<b>3月14日</b>	280.1
2013年8月	301.0	2月25日	302.1	2月25日	<b>272.4</b>	<b>3月14日</b>	282.9

当先のサヤは、3月限268.5円～8月限282.9円と**14.4円**の順ザヤ。順ザヤ幅は縮小した。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、2/28 現在で 421 トン増の 11,363 トン。5 旬連続の増加であり、1 万トンの大台を完全にオーバー。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、22,000 元台まで下落し、週末は 23,000 元まで戻して引けた。

タイ政府の市場介入は、予定通りに 3 月末時点で打ち切られる予定。だが現状では、すでに介入前の価格の水準まで値が落ち込んでいる状況。新たなコメントが出るかどうかだ。

またチャイナやインドの自動車販売台数の落ち込みは顕著であり、在庫の積み上がり方を見ると、ゴム自体には現在のところ弱材料が多いようだ。

結論として当方の相場観は、ゴム自体には強材料が無い中で、300 円で戻り売りを浴びた相場が一気に崩れた。よって相場観は中立に戻し、しばらく方向性を探るのが良いだろう。

## 〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足

…削除済み…

### 今週の原油の値動き

	3月限(当限)	前日比	8月限(先限)	前日比
3月11日	¥63,980	340	¥63,160	570
3月12日	¥63,890	-90	¥62,890	-270
3月13日	¥63,400	-490	¥62,340	-550
3月14日	¥63,160	-240	¥62,090	-250
3月15日	¥63,620	460	¥62,760	670

まずは原油から…

先週号においては『6万円割れで底打ちした可能性が高いだろう。それが正解ならば、今後は再び押し目買いへの転換であり、再度の66,000円台を目指す展開になると見る』とコメントした。

今週の相場展開は、NY原油は93ドル台まで反騰。週末3/15は、前日比0.42ドル高の93.45ドル（高値93.84ドル）での終了となった。

98.24ドル（1/30）→89.33ドル（3/4）までの下げ幅は8.91ドルであったが、現在は93.84ドルまで4.51ドル（下げ幅の50.6%の戻り）まで半値戻しの最中だ。

チャートではまだ完全に買いトレンドに変化した形跡は無いが、先週号でもコメントしたとおり89ドルは目先の底だった様ではある。だがここから、更に一段高するような材料があるのかどうかは、今はまだ疑問なところでもある。

また週末のロンドンブレントは…中略…

3/12現在のファンドのポジションは、…中略…

○東京原油日足

…削除済み…

東京原油は、63,690円（3/13）まで記録した後、62,000円台でのみみ合いという状況。

チャートでは、66,460円（2/13）→59,810円（3/4）まで6,650円の下落の後、63,690円まで3,880円の戻りと、58%の戻りを演じた後のみみ合いである。

…中略…

今後の先行きとしては、今週高値の63,690円を抜ける事が出来るのか？ 62,000円を維持できるのか？が注目点であろう。

先週の押し目買い一貫よりは、かなりトーンダウンした相場観に戻さざるを得ないだろう。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年3月	¥52,040	10月1日	¥67,510	2月13日	¥50,610	11月12日	¥63,620
2013年4月	¥51,740	11月1日	¥67,320	2月13日	¥50,390	11月12日	¥63,840
2013年5月	¥54,860	12月3日	¥66,830	2月12日	¥52,370	12月11日	¥63,510
2013年6月	¥58,080	1月4日	¥66,690	2月13日	¥57,320	1月8日	¥63,180
2013年7月	¥62,910	2月1日	¥66,460	2月13日	¥60,070	3月4日	¥62,940
2013年8月	¥60,560	3月1日	<b>¥63,690</b>	<b>3月13日</b>	¥59,810	3月4日	¥62,760

結論として当方の相場観は、基本的には押し目買いだと見ているが、相場はかなりの分岐点に位置しているものと想定している。そのため、場合によっては途転売り方針に一気にも変わることも有り得る。ここから、月末までの動きが重要だろう。

○東京ガソリン日足

…削除済み…

#### 今週のガソリンの値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
3月11日	¥80,100	1010	¥78,910	960
3月12日	¥79,220	-880	¥78,080	-830
3月13日	¥78,710	-510	¥77,500	-580
3月14日	¥78,400	-310	¥77,330	-170
3月15日	¥79,080	680	¥78,220	890

続いてガソリンです…

先週号においては『結果的に73,000円台で底打ちした模様。需給面からの支援は無いものの、相場は再び押し目買いのトレンドに入ったものと思われる』とコメントした。

今週の相場展開は、79,590円(3/12)まで上昇の後に反落。78,000円を挟んだもみ合いに移行した。

82,250円(2/13)→73,260円(3/1)まで8,990円下げた相場は、79,590円(3/12)まで6,330円の反騰。70%の戻りは、金や穀物と同じ比率だ。

現在は78,000円どころでの乱高下となっている相場だが、82,000円は天井、73,000円は底として、そのどちらにチャレンジするのかは、目先の上値抵抗線79,530円を突破できるか？ 下値支持線77,000円を維持できるか？に掛かっているだろう。

相場としては、その抜けた方に付くしかあるまい。

なお一代の推移は、以下のとおり。

#### 東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年4月	¥63,400	9月26日	¥82,550	2月13日	¥62,560	11月6日	¥79,080
2013年5月	¥65,180	10月26日	¥82,380	2月13日	¥62,490	11月6日	¥79,000
2013年6月	¥67,980	11月26日	¥82,250	2月12日	¥66,480	12月10日	¥78,900
2013年7月	¥69,810	12月26日	¥82,280	2月13日	¥69,640	12月26日	¥78,840
2013年8月	¥76,550	1月28日	¥82,250	2月13日	¥73,720	3月1日	¥78,700
2013年9月	¥78,930	2月26日	¥79,590	3月12日	¥73,260	3月1日	¥78,220

3/15 現在の業者間転売価格は、…中略…

3/9 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、現在の値位置からどちらに抜けるのかは、非常に微妙なところであろう。79,600円と来るか、77,000円を再び割るかで、目先の方向はハッキリするかも。

○東京灯油日足

…削除済み…

今週の灯油の値動き

	4月限(当限)	前日比	9月限(先限)	前日比
3月11日	¥74,370	380	¥76,460	390
3月12日	¥73,800	-570	¥75,710	-750
3月13日	¥73,090	-710	¥74,690	-1020
3月14日	¥72,660	-430	¥74,330	-360
3月15日	¥73,650	990	¥75,240	910

最後に灯油です…

先週号においては『結果的に71,500円で底打ちをした相場であろう。今後は戻り売り方針から、押し目買い方針へと180度の転換である』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けは76,870円(3/11)まで上昇するものの、その後は反落して73,990円(3/14)まで下落。だが週末は、75,000円台まで戻しての終了となった。

82,030円(2/12)→71,500円(3/1)まで10,530円の大暴落を演じた相場は、そこから76,870円(3/11)まで5,370円の反騰。下げ幅の51%の戻りは、ガソリンの70%、原油の58%よりも若干小さいちょうど半値戻しだ。

…中略…

さて相場の今後だが、82,000円は天井だと思っているし、71,000円もまた底だろう。要はその範囲の動きであり、…中略…

そう言う意味では、先週号でコメントした「押し目買い方針へと180度の転換である」という見方は、ちょっとトーンダウンして考えた方が良さそうだ。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013年4月	¥64,320	9月26日	¥81,700	2月12日	¥62,960	11月6日	¥73,650
2013年5月	¥64,410	10月26日	¥81,240	2月12日	¥62,530	11月6日	¥73,730
2013年6月	¥67,680	11月26日	¥81,460	2月12日	¥64,690	12月11日	¥73,810
2013年7月	¥68,440	12月26日	¥81,700	2月12日	¥68,040	12月26日	¥74,210
2013年8月	¥74,200	1月28日	¥82,030	2月12日	¥71,080	3月1日	¥74,700
2013年9月	¥76,550	2月26日	¥76,980	2月26日	¥71,500	3月1日	¥75,240

3/15現在の業者間転売価格は、…中略…

3/9現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、目先は77,000円と上がるか、それとも74,000円を割れてしまうのかで相場の強弱がハッキリするだろう。しかし基本的には逆張りの相場と考えるのが妥当で、年末年始のような急騰や、2月の大暴落のような相場は当分無いだろうと見ている。

## [為替]

### ○ドル/円相場日足

…削除済み…

**96.71 円 (3/12)** まで円安が進行した後、完全な横ばいとなっている。そして週末の NY 市場では、**95 円台前半まで 1 円近い円高**となっている。

先週号で「今朝の日経新聞での各アナリストのコメントでは、もう 100 円乗せが既定路線のように踊っていた。元々、円安論者だった当方には、何の異論も無いものの、あまりにも皆が言い出すとかえって不安なだけである」としたが、相場というのはそういうものなのだ。

**皆が言い出すと反対に動くのが相場**であり、高値飛びつき買いをした筋が投げると、再び相場のトレンドが生まれるわけだ。

なお来週の主な予定は、

…中略…

### ○ユーロ/円相場日足

…削除済み…

**127.69 円 (2/6) → 118.70 円 (2/25)** まで調整していた相場だが、7 日のドラギ発言で大きく円安に。

そして **126.02 円 (3/12)** まで再び円安となったが、週末の NY 市場では 124 円台と若干円高だ。

…中略…

### ○ユーロ/ドル相場日足

…削除済み…

円安、円安と騒いでいるが、ではドル高なのかといえ、2/1 まではドルも対ユーロでは安かったわけだ。

その後現在は反落して、…中略…

---

このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。

内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものではありません。

(当たり前ですが念のため)

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス [info@higenaka.com](mailto:info@higenaka.com)